

東日本大震災における広島大学の対応について

第45回学長定例記者会見（平成25年9月24日）以降、広島大学が対応した内容を下記のとおり報告いたします。（詳細は、大学HPをご覧ください。）

本学は、地震により被災された皆様に対して、引き続き、できうる限りの支援を行う所存です。

記

1. 医療活動支援関係について

(1) 「三次被ばく医療機関」としての広島大学の活動について

- 神谷緊急被ばく対策委員会委員長による「原子力災害における放射線の健康影響」等の講演

※平成23年4月12日（火）～平成25年10月1日（火）までの実施状況

- ・ 広島県における講演（49回、約10,900人）
（委員長代理 細井教授 実施分（2回、約1,100人）を含む）
- ・ 広島県以外での講演（56回、約13,300人）

(2) 広島大学病院での被災者医療支援関係

- 内部被ばく特別検診

予約制によりホールボディカウンタを使用した内部被ばく特別検診を実施しています。

平成23年8月1日から平成23年12月19日まで、毎週月曜日午後実施し、その後、機器の性能向上のための整備を行うため休止していましたが、整備作業終了後、平成24年11月20日から再開、毎週火曜日午後実施しています。

※ 平成25年10月22日（火）までの総受診者数 130人

【本件に関するお問い合わせ先】

財務・総務室 総務グループリーダー 吉岡

TEL：082-424-6011 FAX：082-424-6020